



文部科学省 情報技術人材育成のための実践教育ネットワーク形成事業

分野・地域を越えた実践的情報教育協働ネットワーク

2016年大学向けアンケート調査結果

2016年7月

本調査にご協力をいただいた皆様に、厚く御礼申し上げます。

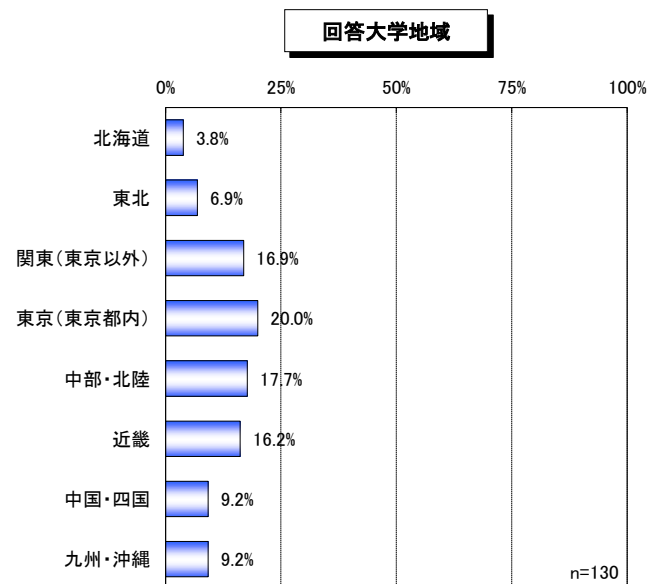
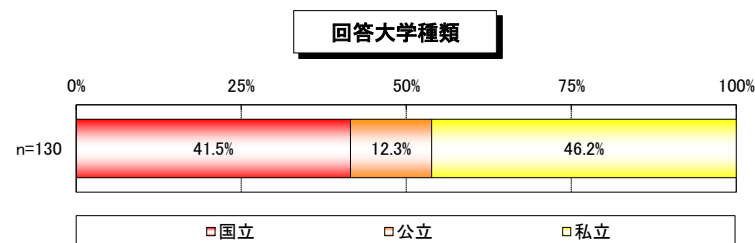


Education Network for Practical Information Technologies

2016年大学向けアンケート調査の概要

本アンケート調査は、国内の大学院の情報系専攻に対して、PBL (Project Based Learning)をはじめとする実践教育の普及状況や実施時の課題のほか、enPiTに対するニーズを把握することを目的として、2013年2月の第1回調査、2014年6月の第2回調査、2015年5月の第3回調査に続いて実施されたものである。

調査対象	大学院の情報系・電気電子系の専攻（254専攻） ・理工系情報学科・専攻協議会に加盟している専攻 ・上記以外の情報工学系の専攻、又は、情報系領域を含む電気電子系の専攻
調査期間	2016年5月下旬～6月上旬
調査方法	郵送アンケート調査
回答率	254件中130件【回答率 51.2%】
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> 実践教育の実施状況 実践教育の重視度 実践教育の充実化の必要性に対する認識 実践教育の実施に関する課題 enPiTの認知度 enPiT への学生の派遣に対する関心度 等



2016年調査結果のポイント

～ 実践教育に対する認識は学部課程も含めて浸透 ～

POINT1

enPiTの認知度はついに**8割超**へ

p.17・18

enPiTの認知率は、過去4年間の調査の中で最も高い**80.8%**を達成。enPiT非参加校の認知度も66.6%に達し、**知名度は比較的高まっている**といえる。

POINT2

enPiTへの学生派遣に対する**関心も引き続き拡大**

p.19・20

enPiTへの学生の派遣に対して関心を持つ専攻の割合も、過去最高を達成。**回答専攻の約6割が、enPiTへの学生派遣に関心を有している**。

POINT3

実践教育は**学部課程でも有益**

p.25

enPiTのような実践教育が学部課程においても有益かどうかを尋ねたところ、**6割以上が有益であると回答**。enPiT非参加校の回答は7割近くに達する。

POINT4

セキュリティ分野のニーズが急上昇

p.23・24

enPiT4分野に対する**関心度は**、過去の調査と傾向が異なり、**「セキュリティ」がトップとなった**。特にenPiT非参加校の間では関心度が8割に達している。

POINT5

実践教育**充実化の必要性**に対する認識は**一層拡大**

p.13・14

実践教育を今後さらに充実化する必要があるという**回答も、年々上昇**。enPiTのような実践教育に向けた取組が継続された成果と考えられる。

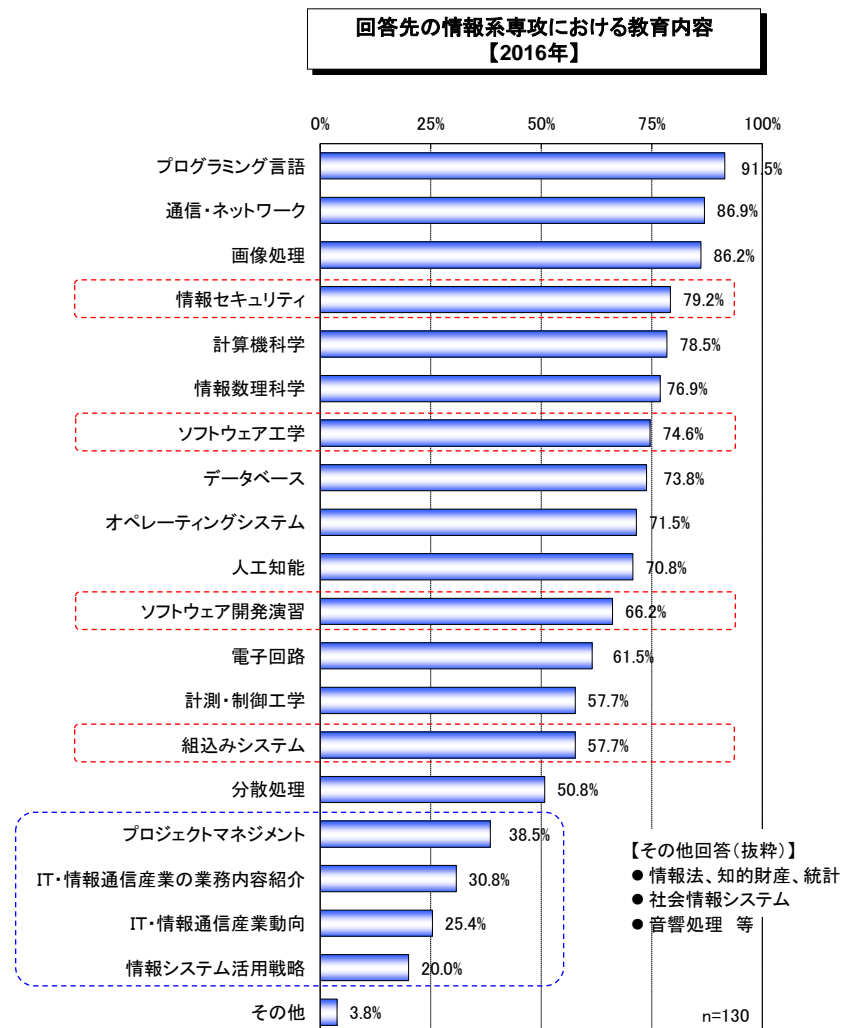
enPiTが継続的に実施された結果、enPiTの認知度とともに**情報系専攻における実践教育の必要性に対する認識が普及・浸透**。学部課程も含めて**実践教育の有益性が認識されていることが把握された**。

情報系専攻における教育内容①

- 本調査では、基本情報として、回答先の情報系専攻における教育内容について尋ねている(学部での履修を前提とする科目を含む)。
- 右図のとおり、教育内容としては、「プログラミング言語」、「通信・ネットワーク」、「画像処理」、が上位に挙げられており、実施していると回答した専攻は約8～9割に上る。
- また、enPiTで実践教育を受講する際の前提となる「**情報セキュリティ**」に関する教育を実施している専攻は8割程度、「**ソフトウェア工学**」、「**ソフトウェア開発演習**」については6～7割程度、「**組み込みシステム**」は6割程度となっている。
- 一方で、**産業界における実務を意識した「IT・情報通信産業の業務内容紹介」や「プロジェクトマネジメント」、「情報システム活用戦略」**などについて実施していると回答した専攻は、**2～4割程度**となっている。

【問1】貴学科・専攻で実施されている教育内容として、当てはまるものをすべてお選びください。

(大学院での教育内容についてご回答いただく場合は、学部での履修を前提としている科目も含めていただいて構いません。)

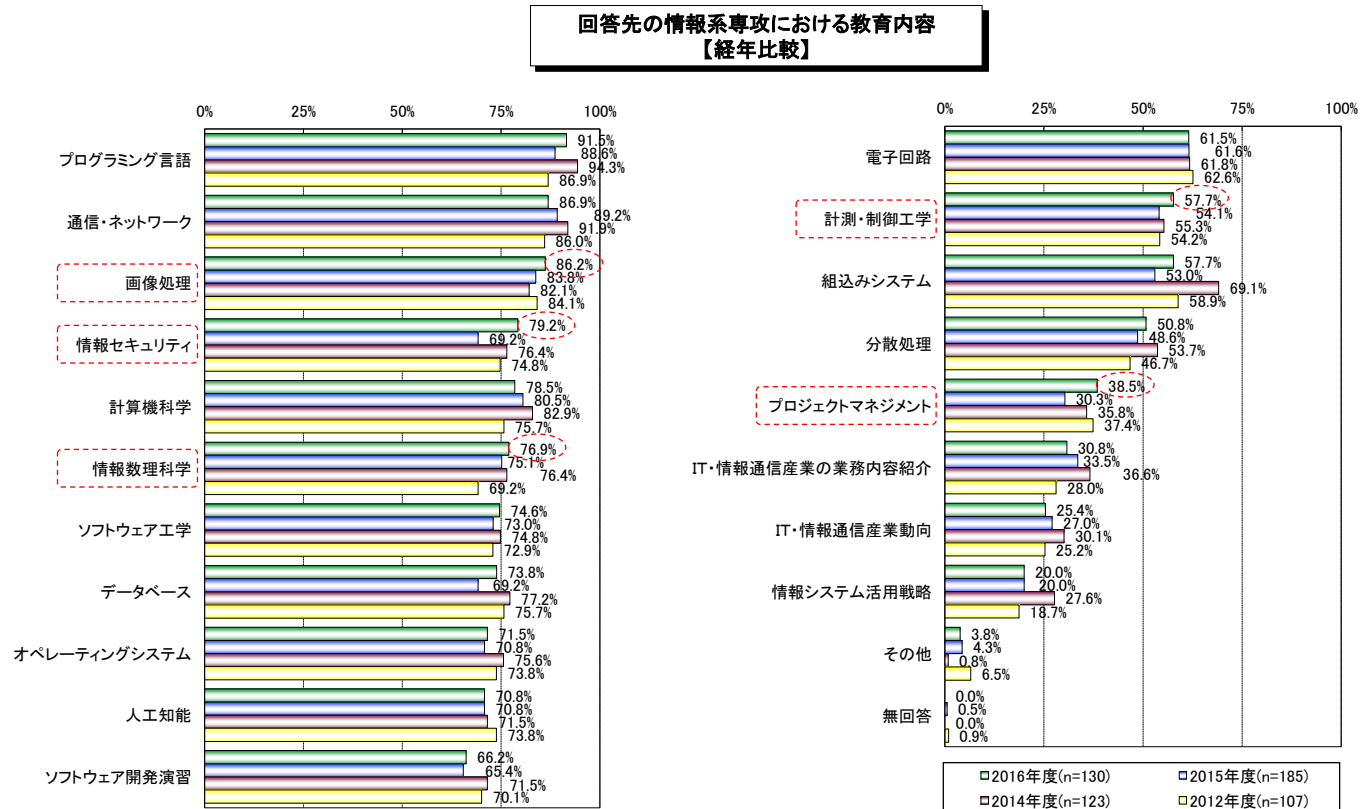


情報系専攻における教育内容② (経年比較)

- 前頁の設問についての過去4年間の調査結果の経年比較を見ると、「画像処理」、「情報セキュリティ」、「情報数理学」、「計測・制御工学」、「プロジェクトマネジメント」等は、2016年の回答割合が最も高いという結果になった。

【問1】 貴学科・専攻で実施されている教育内容として、当てはまるものをすべてお選びください。

(大学院での教育内容についてご回答いただく場合は、学部での履修を前提としている科目も含めていただいて構いません。)

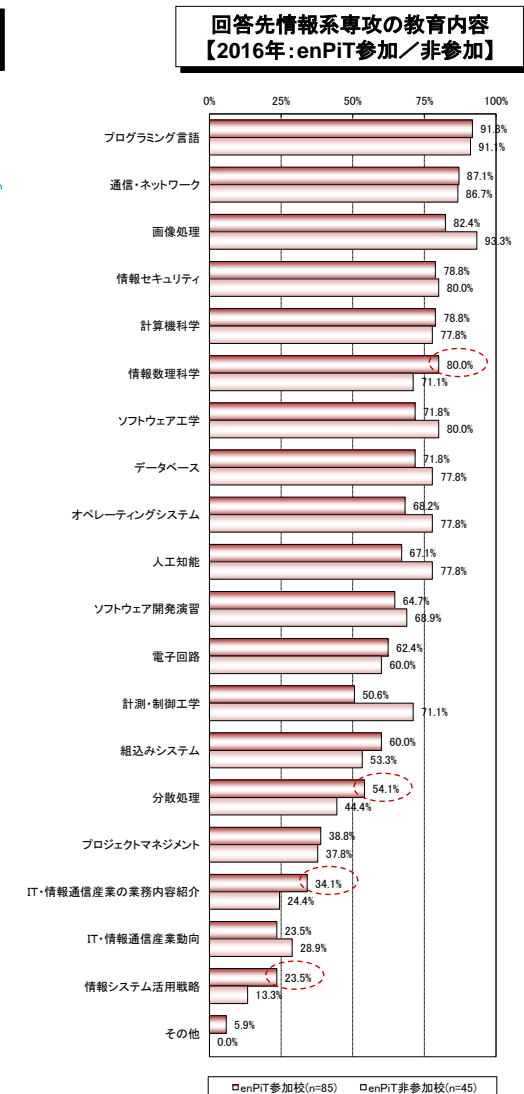
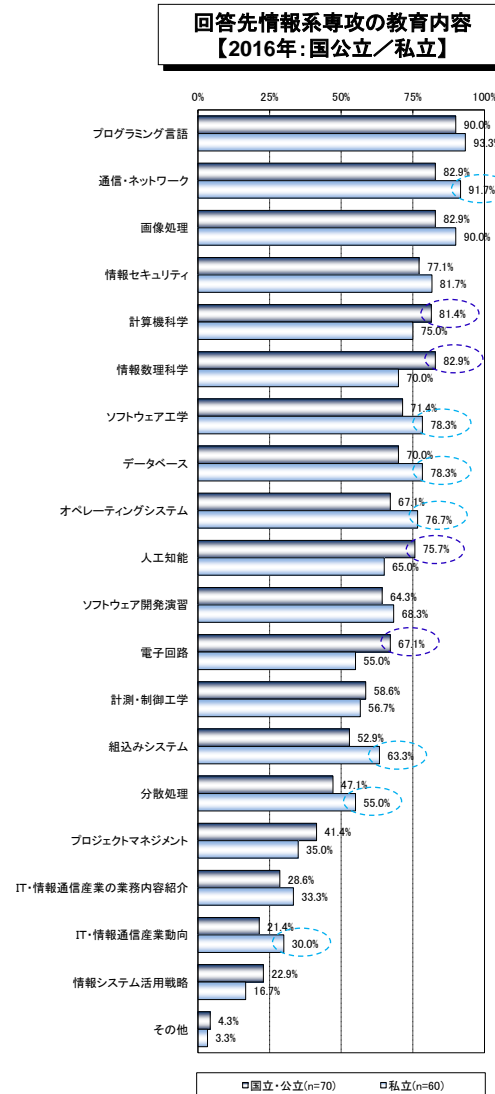


情報系専攻における教育内容③ (属性別)

【問1】 貴学科・専攻で実施されている教育内容として、当てはまるものをすべてお選びください。

(大学院での教育内容についてご回答いただく場合は、学部での履修を前提としている科目も含めていただいで構いません。)

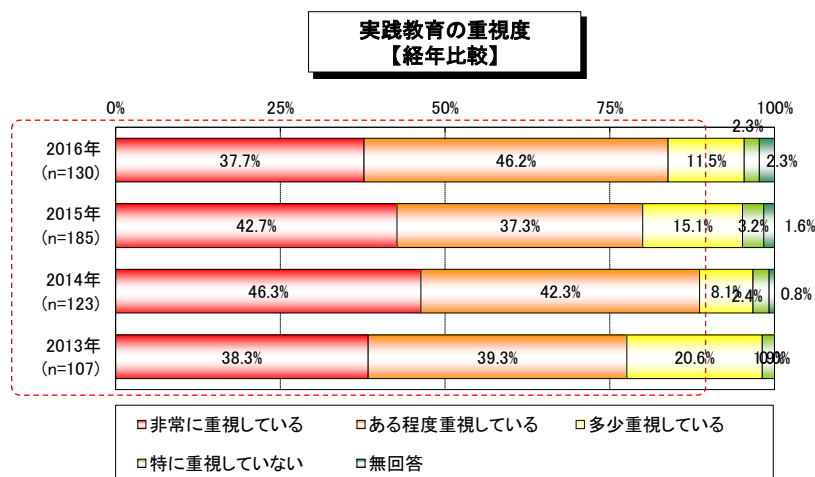
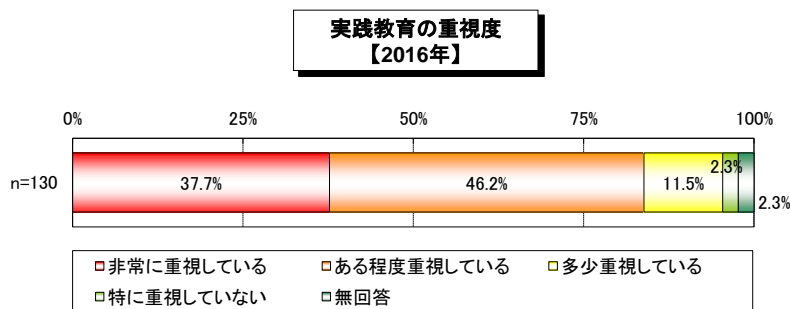
- 前々頁に示した2016年の調査結果を、国公立／私立別にみると、「**計算機科学**」や「**情報数理学**」のほか、「**人工知能**」や「**電子回路**」などの分野については、**国公立のほうが回答割合が高い**。
- 国公立よりも私立の回答割合が高い項目としては、「**通信・ネットワーク**」のほか、「**ソフトウェア工学**」、「**データベース**」、「**オペレーティングシステム**」、「**組込みシステム**」、「**分散処理**」、「**IT・情報通信産業動向**」などが挙げられる。
- enPiT参加校／非参加校という属性別にみると、「**情報数理学**」や「**分散処理**」のほか、「**IT・情報通信産業の業務内容紹介**」や「**情報システム活用戦略**」などは、**enPiT参加校のほうが回答が多くなって**いる。



情報系専攻における実践教育の重視度①

- 本調査では、実践教育に対する情報系専攻のニーズを把握するために、各専攻に対して、実践教育をどの程度重視しているかを尋ねている。なお、本調査では、実践教育を「**産業界において、課題解決のための情報技術の利活用を担う重要な戦力として活躍できる人材を育成するという観点での教育**」と定義している。
- この設問に対しては、左図のとおり、「非常に重視している」という回答が約4割近くに上ったほか、「ある程度重視している」という回答も5割程度となり、あわせて9割近くが「重視している」と回答する結果となった。
- 過去の調査結果(右図)と比較すると、「非常に重視している」、「ある程度重視している」をあわせた回答は、調査開始年の2013年からおおむね増加している。**enPiTなどの実践教育を重視する取り組みの流れを受けて、国内の情報系専攻では、引き続き実践教育が重視されているといえる。**

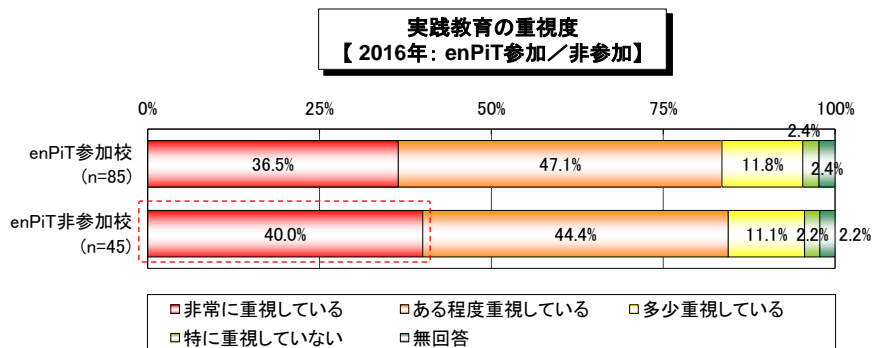
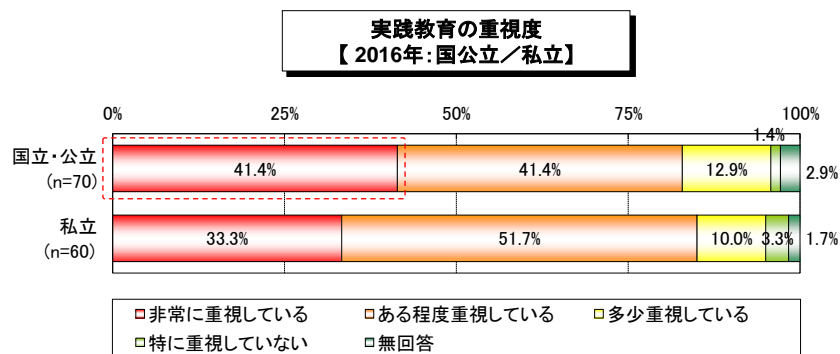
【問2】 貴専攻では、「産業界等において、課題解決のための情報技術の利活用を担う貴重な戦力として活躍できる人材を育成する」という観点での実践教育を、どの程度重視していますか。



情報系専攻における実践教育の重視度② (属性別)

- 前頁の2016年の回答を属性別に集計した結果は、以下のとおりとなった。属性に関わらず、「非常に重視している」、「ある程度重視している」という回答の合計は8割以上となっている。
- 回答を国公立／私立別にみると、**国公立のほうが「非常に重視している」という回答がやや多い**点が注目される(左図)。また、enPiT参加校／非参加校別にみると、enPiT非参加校のほうが「非常に重視している」という回答がやや多くなっている点も注目される(右図)。**enPiTへの参加／非参加に関わらず、情報系分野における実践教育を重視する傾向が強まっている**とも考えられる。

【問2】 貴専攻では、「産業界等において、課題解決のための情報技術の利活用を担う貴重な戦力として活躍できる人材を育成する」という観点での実践教育を、どの程度重視していますか。

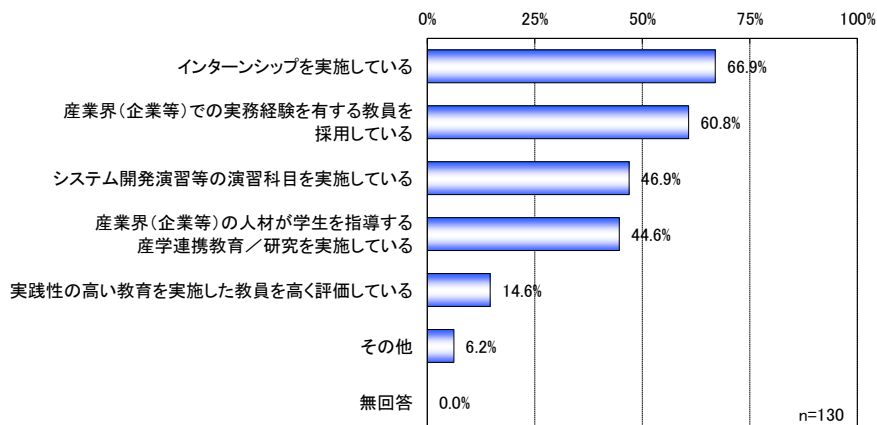


■ 実践教育の充実化に向けて実施している取り組み①

- 左図のとおり、実践教育の充実化に向けて各専攻が実施している取り組みについて尋ねたところ、「インターンシップの実施」や「産業界(企業等)での実務経験を有する教員の採用」などの回答が上位に挙がった。
- 右図のとおり、2014年、2015年と比較すると、「**インターンシップの実施**」や「**産業界(企業等)での実務経験を有する教員の採用**」、「**システム開発演習等の演習科目を実施している**」という回答が引き続き上位となっている。
- また、「**実践性の高い教育を実施した教員を高く評価している**」という項目については、2013年から2014年にかけて10%以上上昇し、その後やや低下傾向にあるが、2016年も引き続き同水準を維持している。

【問2-1】「産業界等において、課題解決のための情報技術の利活用を担う貴重な戦力として活躍できる人材を育成する」という観点で実践教育の充実を図るために、貴専攻において実施されている取り組みがあれば、以下からすべて選んでください。

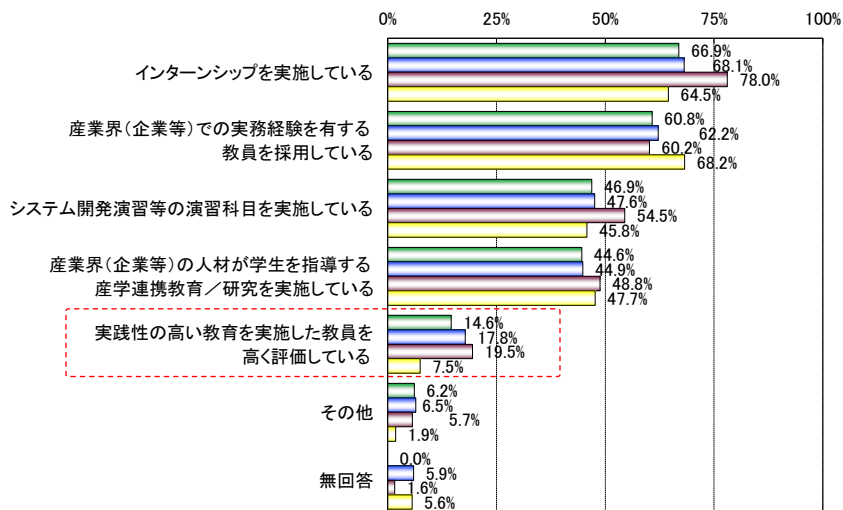
実践教育の充実化に向けて実施している取り組み
【2016年】



【その他回答(抜粋)】

- 外部のクライアントと実システムの開発を行っている。
- 地元の自治体の方に顧客になっていただき、課題解決に取り組んでいる

実践教育の充実化に向けて実施している取り組み
【経年比較】



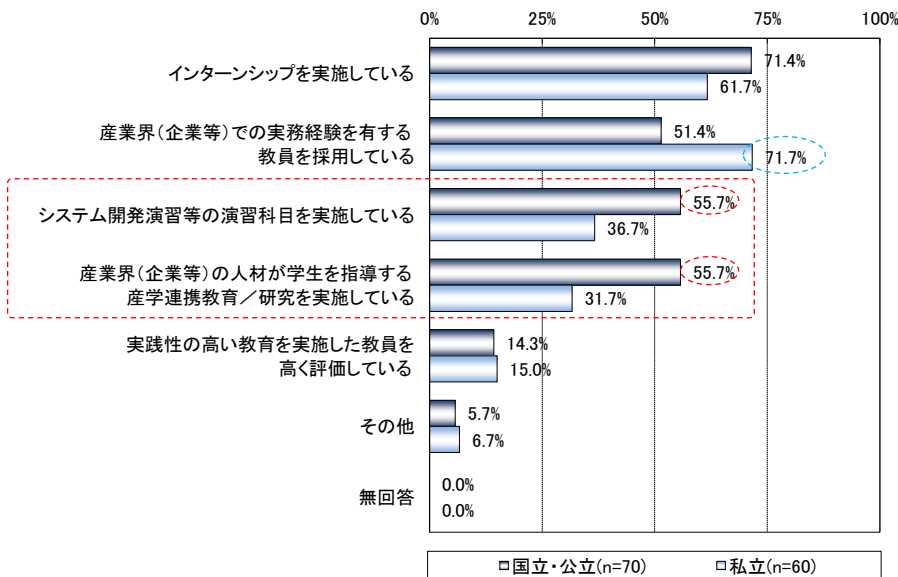
□ 2016年(n=130) □ 2015年(n=185)
□ 2014年(n=123) □ 2013年(n=107)

■ 実践教育の充実化に向けて実施している取り組み②（属性別）

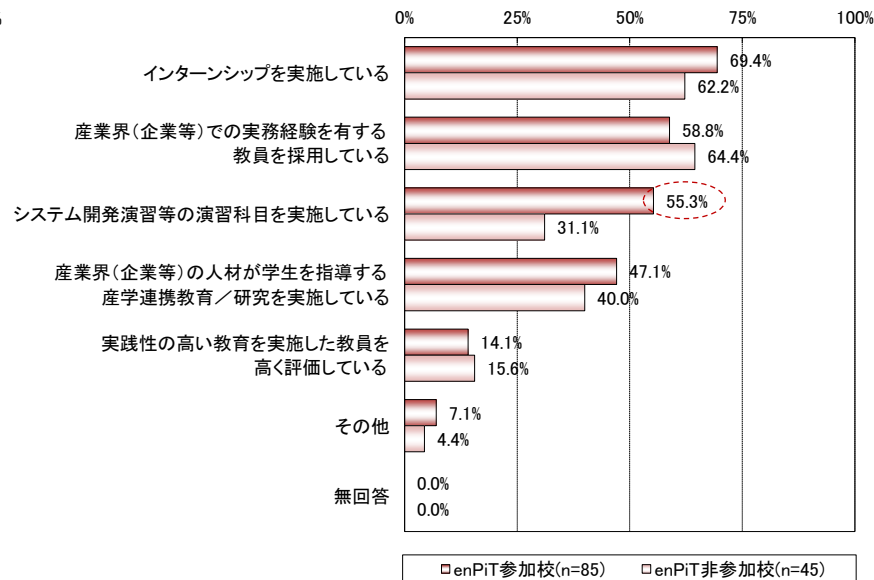
- 実践教育の充実化に向けて各専攻が実施している取り組みについての集計結果を属性別にみると、「システム開発演習等の演習項目を実施している」及び「産業界(企業等)の人材が学生を指導する産学連携教育／研究を実施している」という回答は、国公立のほうが私立よりも2割程度高いという結果になった(左図)。
- 一方で、「産業界(企業等)での実務経験を有する教員を採用している」と回答した割合については、私立のほうが国公立よりも2割程度高くなっている(左図)。

【問2-1】「産業界等において、課題解決のための情報技術の利活用を担う貴重な戦力として活躍できる人材を育成する」という観点で実践教育の充実を図るために、貴専攻において実施されている取り組みがあれば、以下からすべて選んでください。

実践教育の充実化に向けて実施している取り組み
【2016年:国公立/私立】



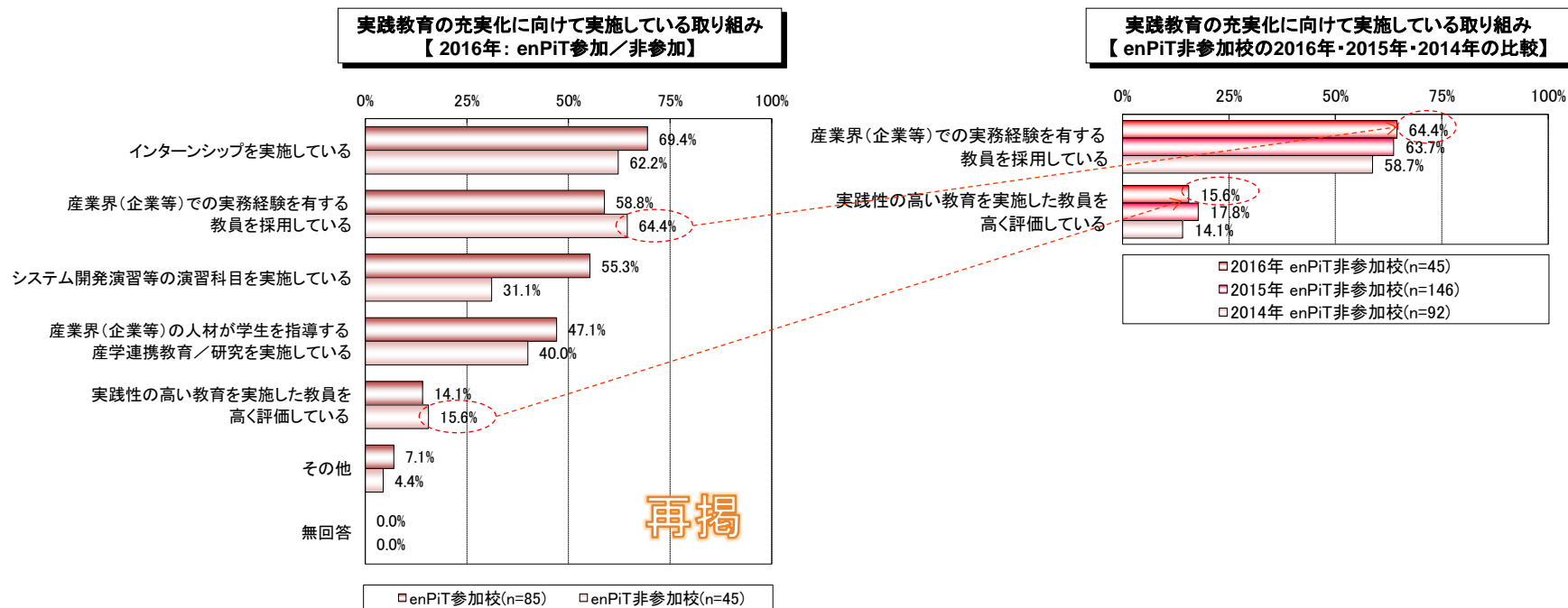
実践教育の充実化に向けて実施している取り組み
【2016年: enPiT参加/非参加】



■ 実践教育の充実化に向けて実施している取り組み③（属性別／経年比較）

- 前頁の「実践教育の充実化に向けて実施している取り組み」のうち、右図のenPiT非参加校における教員の採用について着目すると、**2014年から2016年にかけて回答割合が上昇している**ことが読み取れる。教員の評価についても、2014年より回答割合が高くなっている。
- enPiTを中核として、情報系専攻において実践教育を重視する流れが拡大した結果、enPiT参加校以外においてもこうした取り組みが広がっており、これも**enPiTの実施・継続による成果の一つ**であると考えられる。

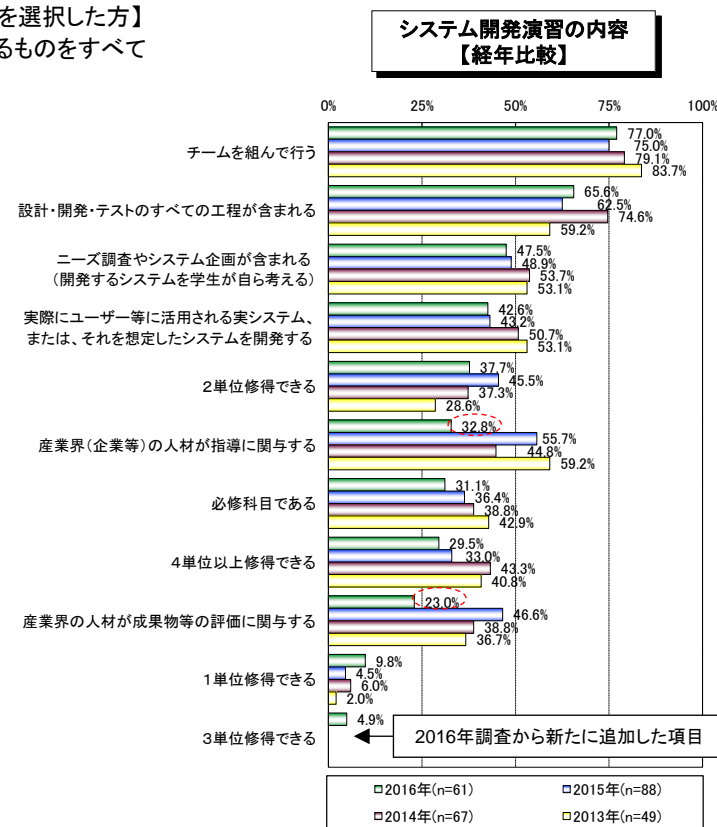
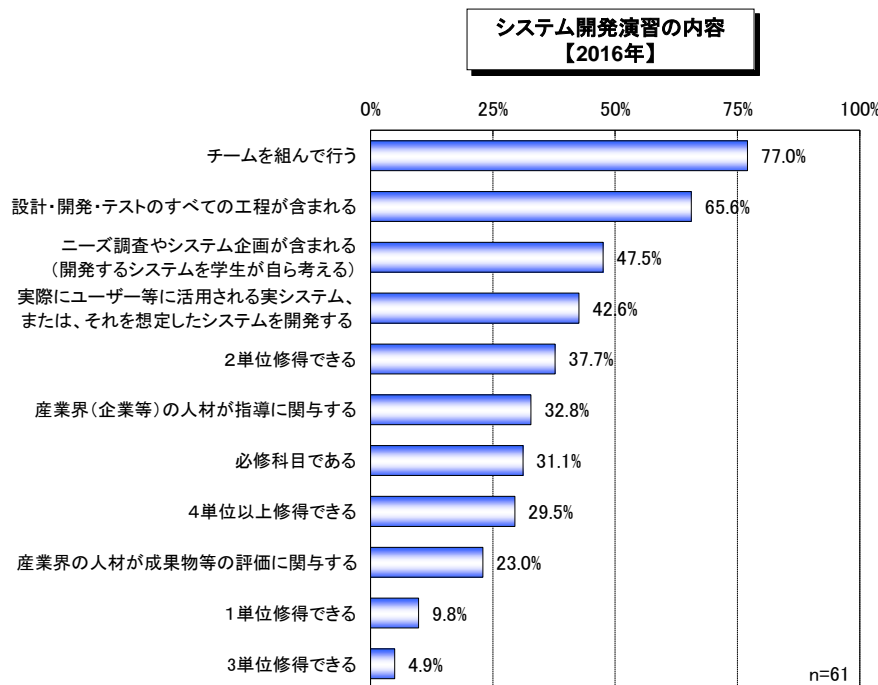
【問2-1】「産業界等において、課題解決のための情報技術の利活用を担う貴重な戦力として活躍できる人材を育成する」という観点で実践教育の充実を図るために、貴専攻において実施されている取り組みがあれば、以下からすべて選んでください。



■ システム開発演習の内容①

- 前々頁の設問において「システム開発演習等の演習科目を実施している」と回答した場合は、その開発演習の具体的な内容についても尋ねた。その結果、左図のとおり、「チームを組んで行う」、「設計・開発・テストのすべての工程が含まれる」という回答が例年どおり上位となった。
- 右図の「産業界(企業等)の人材が指導に関与する」、「産業界の人材が成果物等の評価に関与する」という回答を経年で比較すると、**昨年と比べ2割程度低下する結果となっており、調査開始以来、最も低い水準**となった。

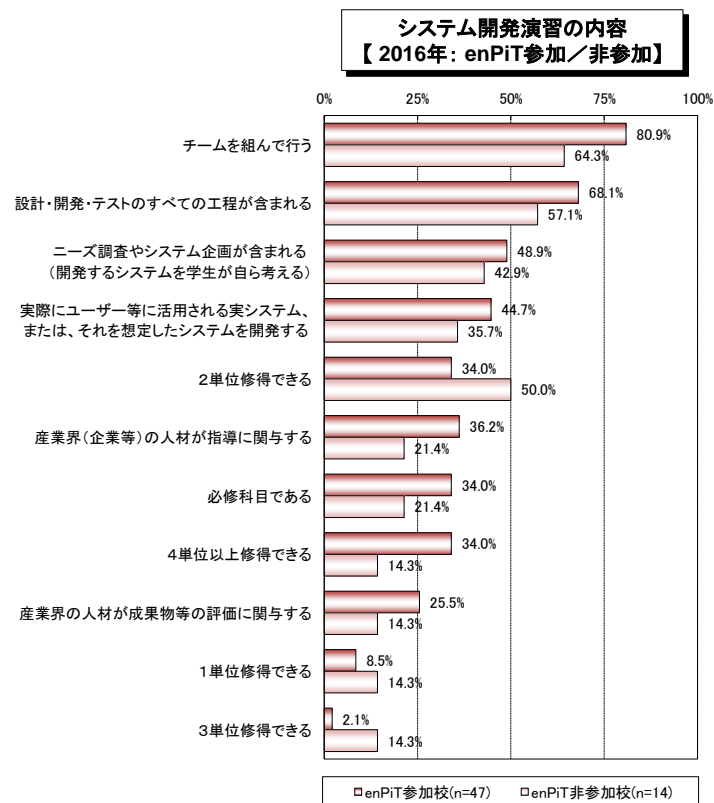
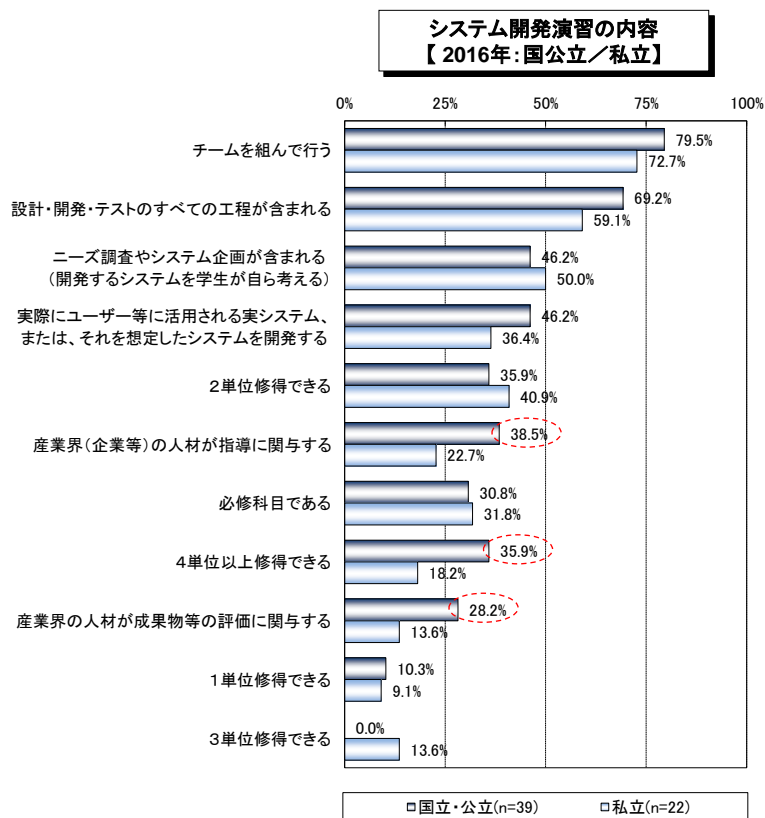
【問2-2】【回答対象者:前々頁の設問で「システム開発演習等の演習科目を実施している」を選択した方】
貴専攻で実施しているシステム開発演習の内容について、以下のうち、当てはまるものをすべてお選びください。



■ システム開発演習の内容② (属性別)

- 前頁の結果を属性別にみると、左図のとおり、「産業界の人材が指導に関与する」という選択肢は、国公立のほうが私立よりも1割程度高いという結果となった。「産業界の人材が評価に関与する」という選択肢についても、国公立のほうが私立よりも1割程度高くなっている。

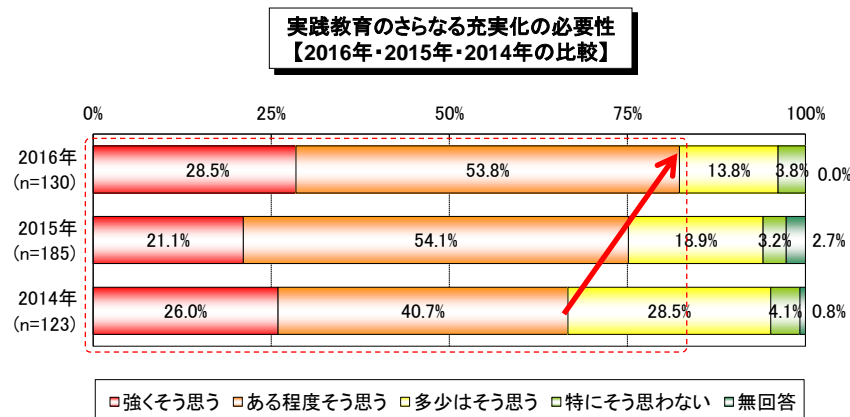
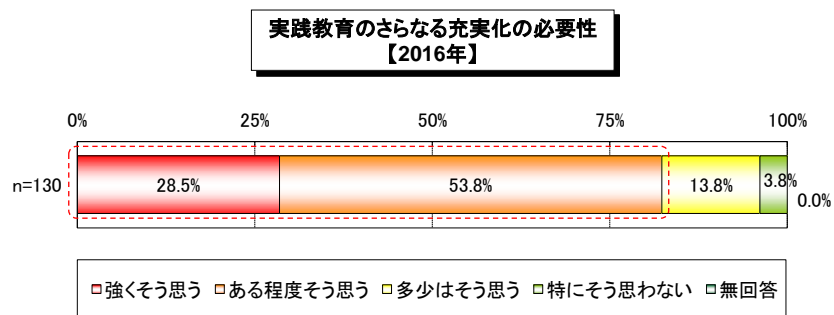
【問2-2】【回答対象者：前頁の設定で「システム開発演習等の演習科目を実施している」を選択した方】
貴専攻で実施しているシステム開発演習の内容について、以下のうち、当てはまるものをすべてお選びください。



■ 実践教育の充実化の必要性①

- 実践教育のさらなる充実化の必要性について尋ねる設問では、「強くそう思う」または「ある程度そう思う」という回答が8割を超えたほか、「多少はそう思う」をあわせると95%を超えており、**多くの専攻において、実践教育の充実化の必要性が認識されている**ことが読み取れる(左図)。
- 右図のとおり、2014年、2015年調査と比較すると、「強くそう思う」、「ある程度そう思う」を合わせた回答の割合は**毎年1割程度ずつ増加**しており、実践教育の充実化の必要性に対する問題意識は、より一層高まっているとみられる。

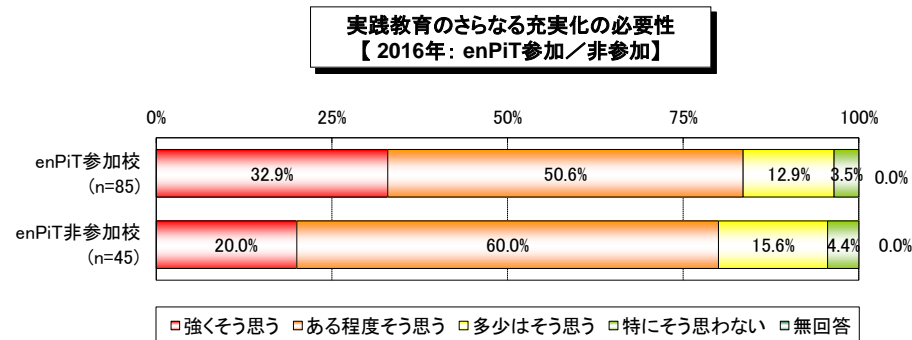
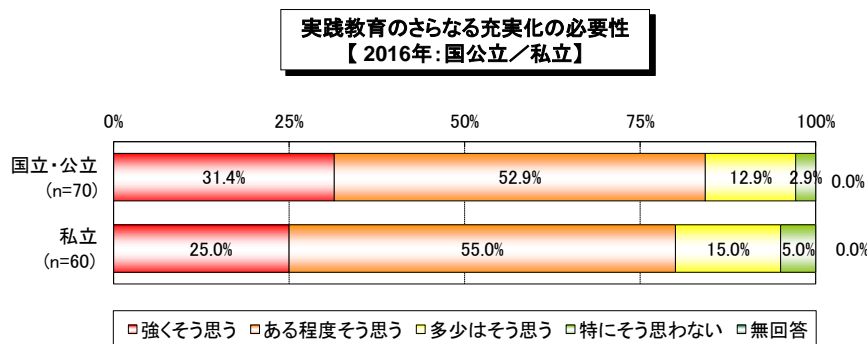
【問3】 貴専攻では、今後、実践教育のさらなる充実化を図る必要があると思いますか。



■ 実践教育の充実化の必要性②（属性別）

- 前頁の結果を属性別にみた結果を以下に示す。国公立と私立を比べると、国公立のほうが「強くそう思う」または「ある程度そう思う」の回答割合が高い（左図）。
- enPiT参加校と非参加校を比べると、enPiT参加校のほうが、「強くそう思う」という回答割合が高くなっている（右図）。

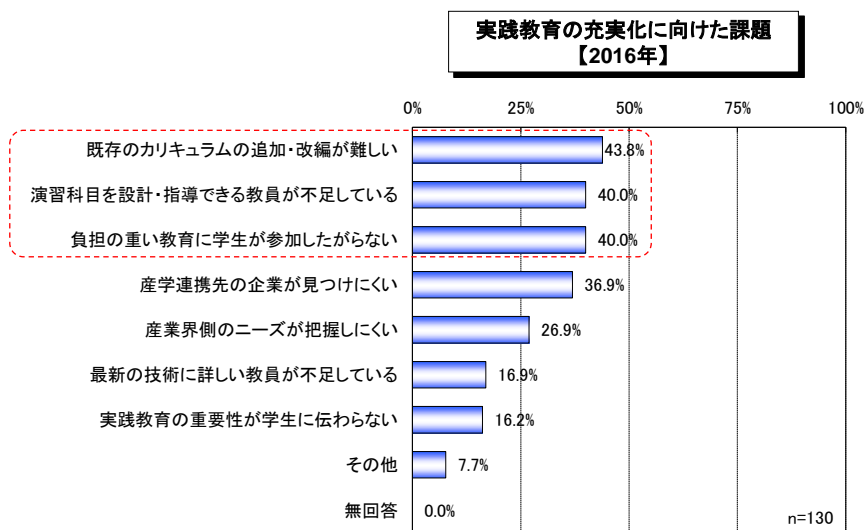
【問3】 貴専攻では、今後、実践教育のさらなる充実化を図る必要があると思いますか。



■ 実践教育の充実化に向けた課題①

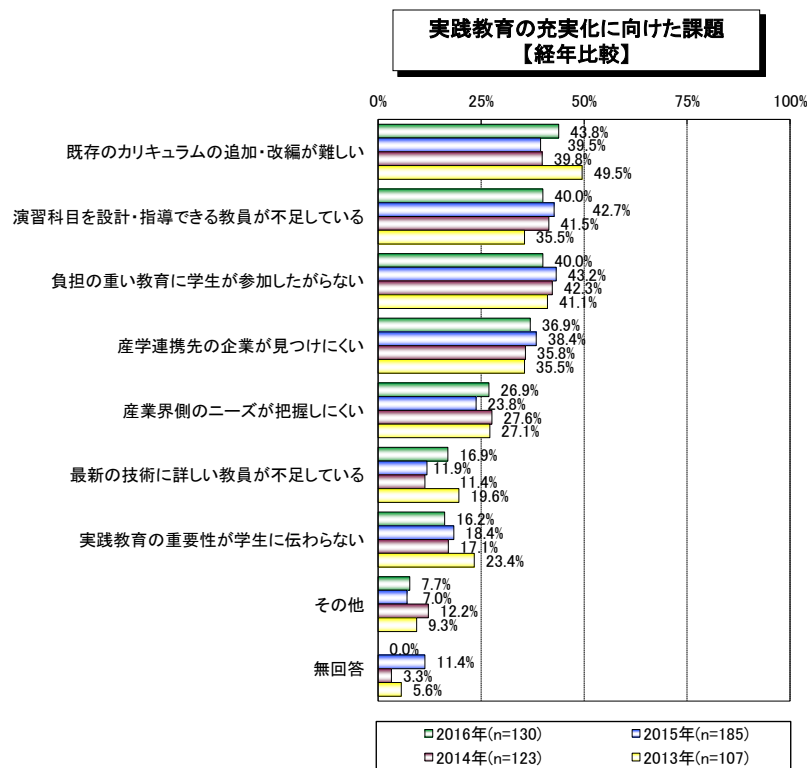
- 実践教育の充実化に向けた課題を尋ねる設問では、左図のとおり、「既存のカリキュラムの追加・改編が難しい」、「演習科目を設計・指導できる教員が不足している」、「負担の重い教育に学生が参加したくない」という回答が上位となった。
- 右図の経年比較によれば、例年、ほぼ同じような傾向が見られる。

【問4】 貴専攻の実践教育の充実を図る上での課題を、以下からすべてお選びください。



【その他回答(抜粋)】

- 教員の理解を得ることが難しい
- 予算が不足している
- 実践教育と研究の両立 等

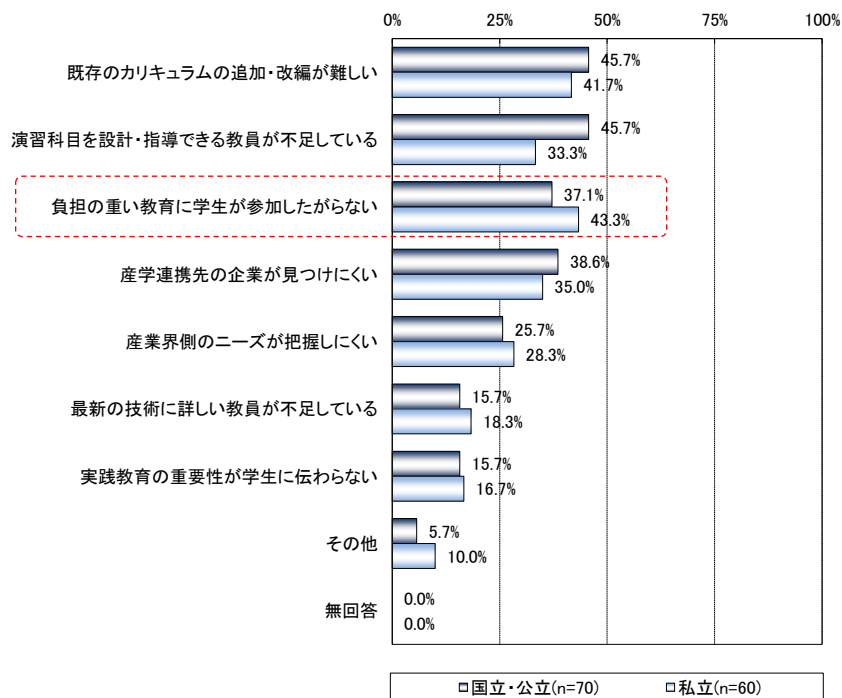


■ 実践教育の充実化に向けた課題②（属性別）

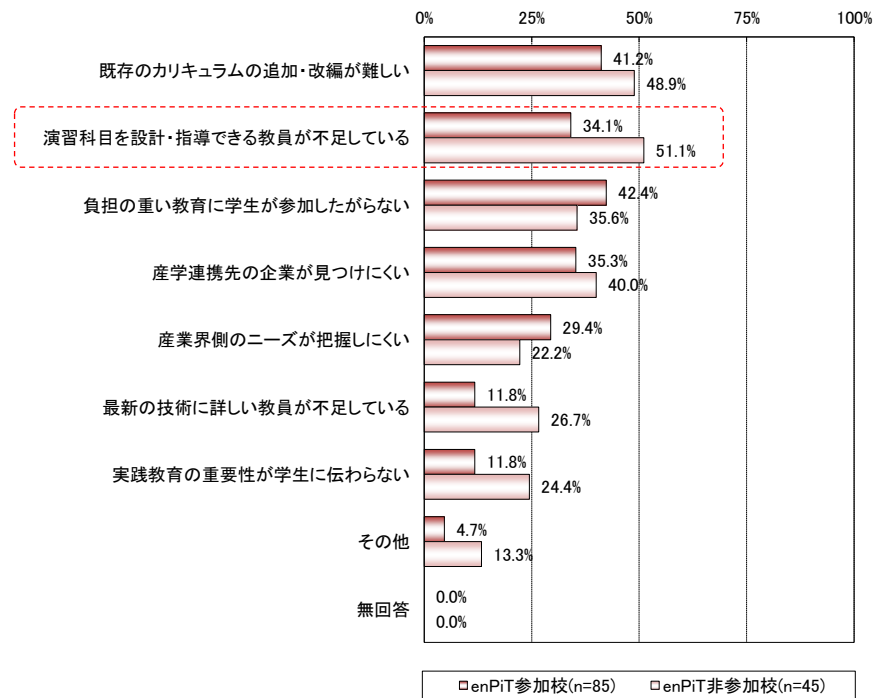
- 前頁の結果を属性別にみた結果が以下であるが、「**国公立／私立**」別にみると、「**負担の重い教育に学生が参加したがらない**」という回答が私立のほうが国公立よりも高くなっており、私立の中では最も多い回答となっている（左図）。
- また、「**enPiT参加／非参加**」別にみると、「**演習科目を設計・指導できる教員が不足している**」という回答の差が最も大きいほか、これが**enPiT非参加校の中では最も多い回答**となっており、教員の採用が課題となっているといえる（右図）。

【問4】 貴専攻の実践教育の充実を図る上での課題を、以下からすべてお選びください。

実践教育の充実化に向けた課題
【2016年：国公立／私立】



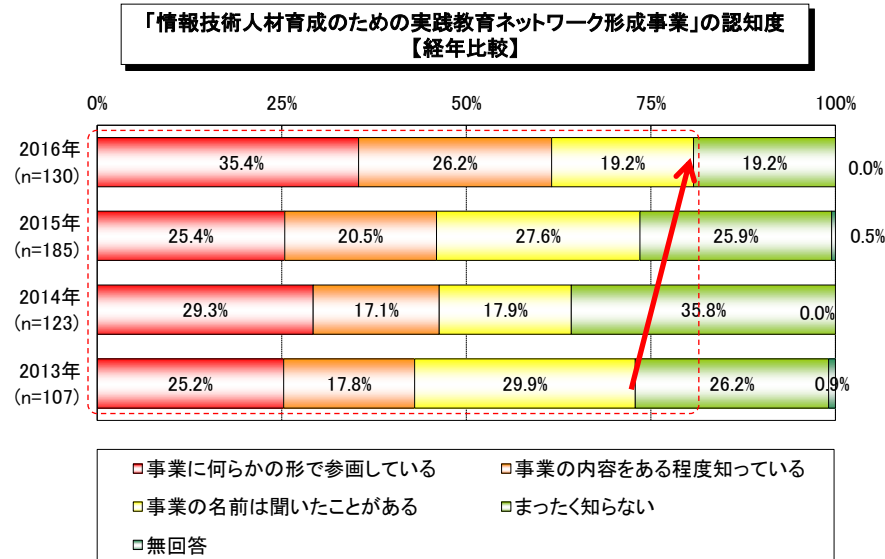
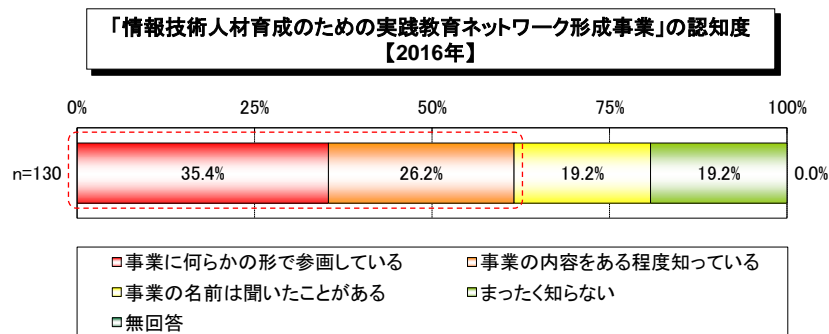
実践教育の充実化に向けた課題
【2016年：enPiT参加／非参加】



■ 情報系専攻におけるenPiTの認知度①

- 本調査に回答した専攻に対して、**enPiTの認知度**を尋ねたところ、左図のとおり、「事業に何らかの形で参画している」、「事業の内容をある程度知っている」を合わせて**約6割(61.6%)**という結果となった。「事業の名前は聞いたことがある」という回答も含めると合計は**80.8%**となり、**過去4年間の調査の中で最も高い認知度を達成した。**
- 右図を見ると、「事業に何らかの形で参画している」、「事業の内容をある程度知っている」を合わせた回答の割合は、**調査開始以来、初めて5割を超える結果**となっている(右図)。

【問5】 文部科学省では、平成24年度から、情報系分野における実践教育のさらなる普及を目指して、「情報技術人材育成のための実践教育ネットワーク形成事業」(分野・地域を越えた実践的情報教育協働ネットワーク: enPiT[エンピット])を実施していますが、この事業についてご存知ですか。

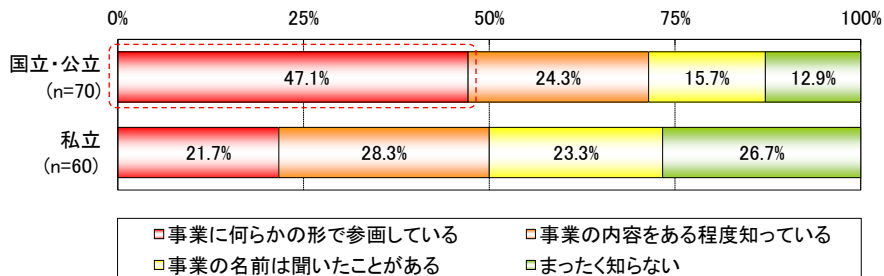


情報系専攻におけるenPiTの認知度②（属性別）

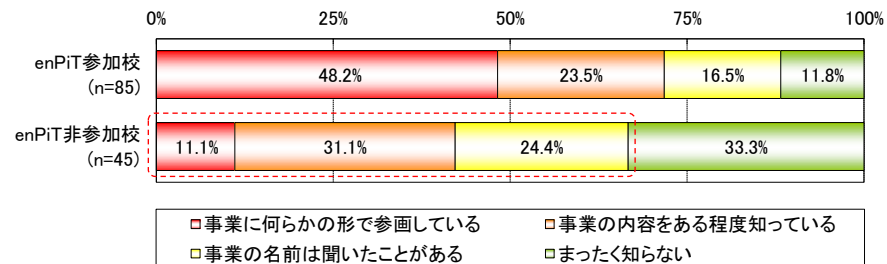
- 前頁の結果を属性別にみた結果が以下であるが、国公立のほうが私立よりも「事業に何らかの形で参画している」と回答した割合が25%程度高いという結果になった(左図)。
- **enPiT非参加校の間でのenPiTの認知度**に注目すると、「事業に何らかの形で参画している」、「事業の内容をある程度知っている」、「事業の名前は聞いたことがある」の合計が6割を超えている(右図)。**enPiTに参加していない専攻の間でも比較的高い認知度を達成していることから、enPiTの認知度は真に高まっていると考えられる。**

【問5】 文部科学省では、平成24年度から、情報系分野における実践教育のさらなる普及を目指して、「情報技術人材育成のための実践教育ネットワーク形成事業」(分野・地域を越えた実践的情報教育協働ネットワーク:enPiT[エンピット])を実施していますが、この事業についてご存知ですか。

「情報技術人材育成のための実践教育ネットワーク形成事業」の認知度
【2016年:国公立/私立】



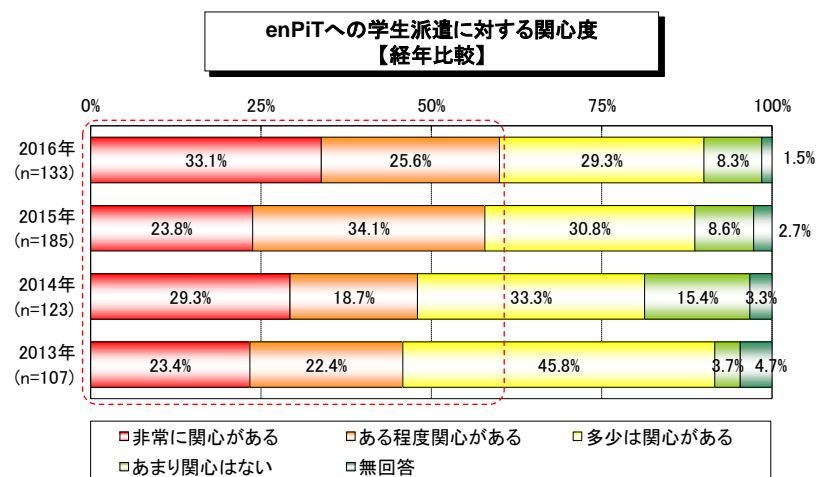
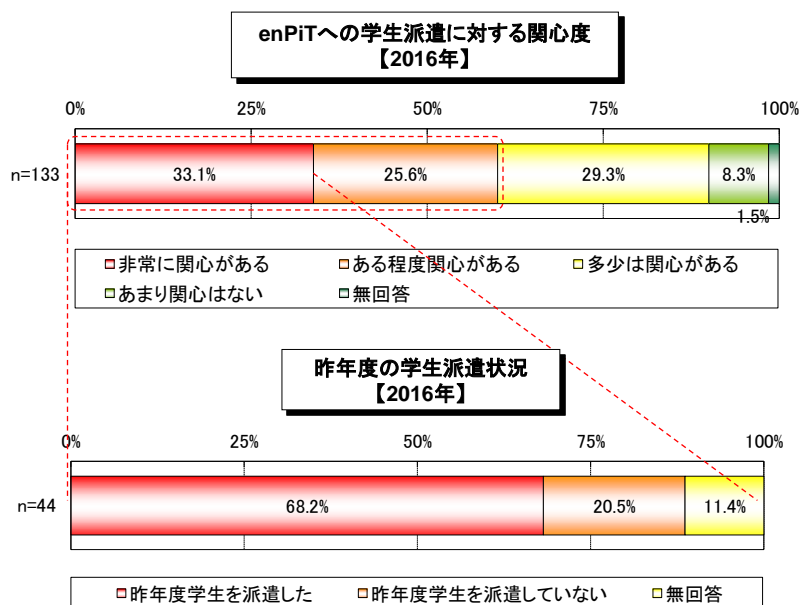
「情報技術人材育成のための実践教育ネットワーク形成事業」の認知度
【2016年: enPiT参加/非参加】



enPiTへの学生派遣に対する関心①

- 本調査に回答した専攻に対して、enPiTに自校の学生を派遣することに関心があるかどうか尋ねたところ、**半数以上の専攻が「非常に関心がある」、「ある程度関心がある」と回答した**(左図)。
- 過去の調査結果と比較して、「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた回答の割合は**上昇傾向にあり、調査開始年と比較すると1割以上上昇している**(右図)。特に、2016年は、「非常に関心がある」という回答が3割を超えている点が注目される。

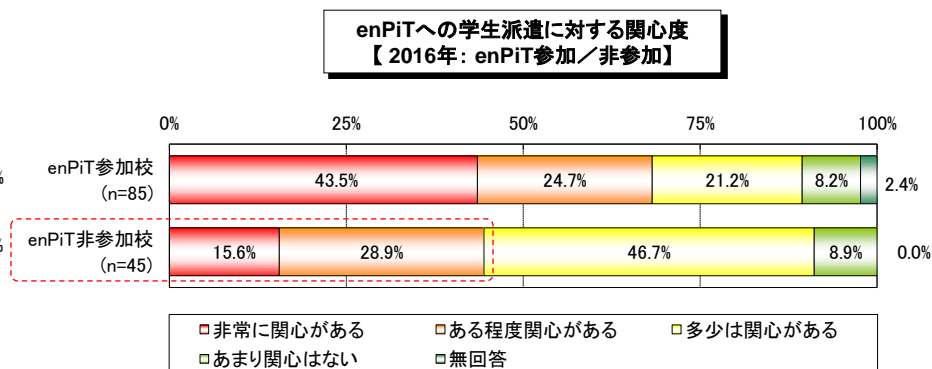
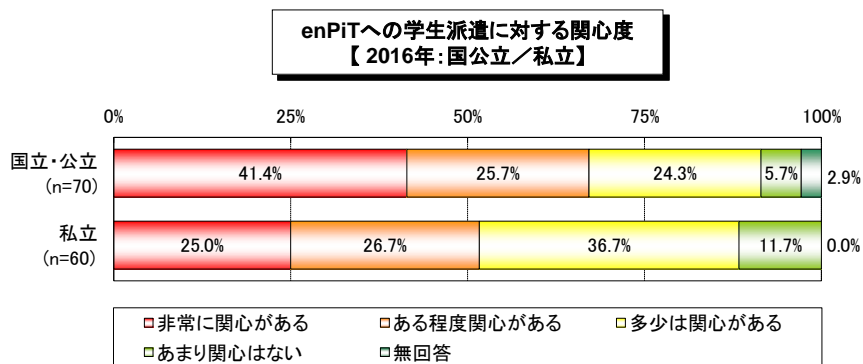
【問6】 enPiTでは、4分野の実践教育の受講を希望する学生を、全国各地から拠点校(大学院)に受け入れることが可能ですが、貴専攻は、こうした教育に学生を派遣することにご関心をお持ちですか。



enPiTへの学生派遣に対する関心② (属性別)

- 以下は、前頁の結果を属性別にみたものであるが、右図のとおり、2016年にenPiTに参加していない専攻についても、4割程度がenPiTへの学生派遣について「非常に関心がある」、「ある程度関心がある」と回答している点が注目される。
- 左図のとおり、国公立と私立を比較すると、国公立・私立ともに半数以上が「非常に関心がある」、「ある程度関心がある」と回答しているが、特に国公立の専攻において、「非常に関心がある」という回答が高くなっている。

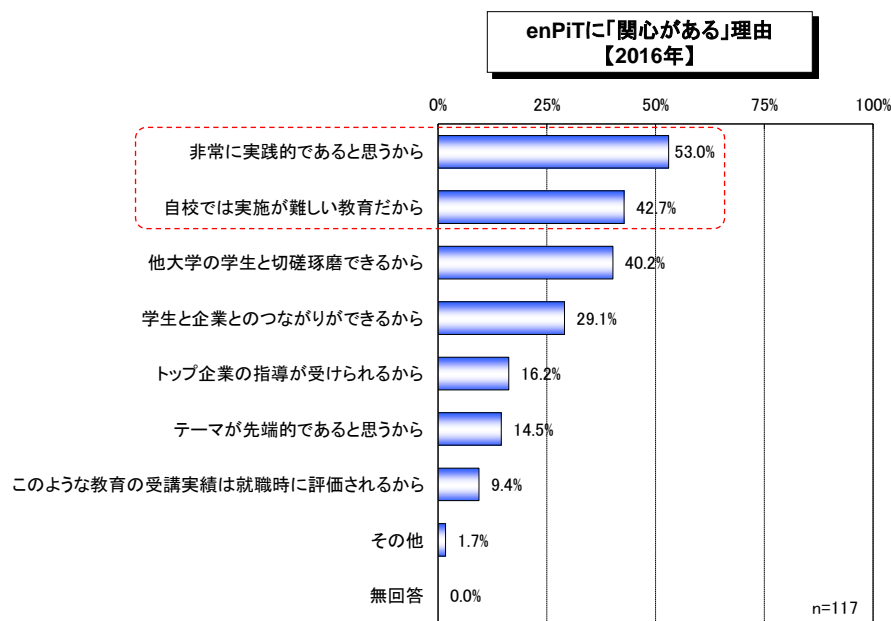
【問6】 enPiTでは、4分野の実践教育の受講を希望する学生を、全国各地から拠点校(大学院)に受け入れることが可能ですが、貴専攻は、こうした教育に学生を派遣することにご関心をお持ちですか。



enPiTに関心がある理由①

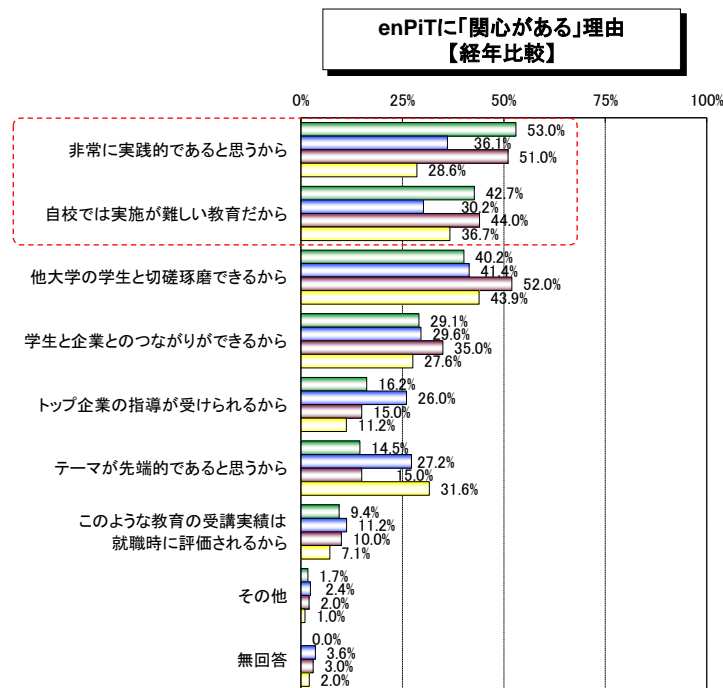
- enPiTに自校の学生を派遣することに関心がある理由を尋ねたところ、「非常に実践的であると思うから」、「自校では実施が難しい教育だから」という回答の割合が高く、全体の4～5割程度となった(左図)。
- 過去の調査結果と比較すると、上位2項目である「非常に実践的であると思うから」、「自校では実施が難しい教育だから」という回答は、**昨年調査よりも1割以上増えている**(右図)。

【問7】【回答者対象: enPiTへの関心について「非常に関心がある」、「ある程度関心がある」、「多少は関心がある」を選択した方】
その理由として、当てはまるものを以下から2つまでお選びください。



【その他回答(抜粋)】

- 企業から即戦力が求められる傾向があるため



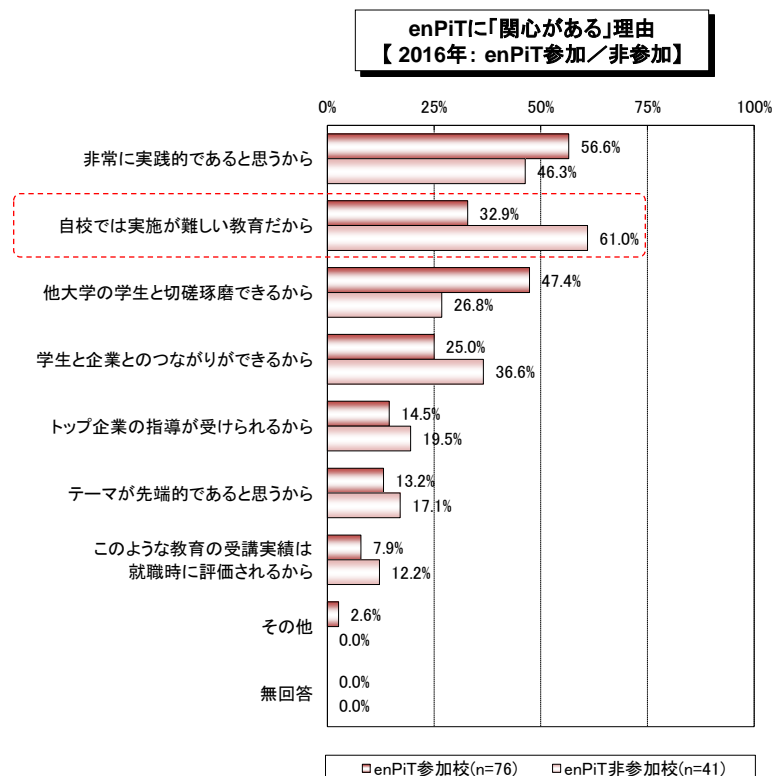
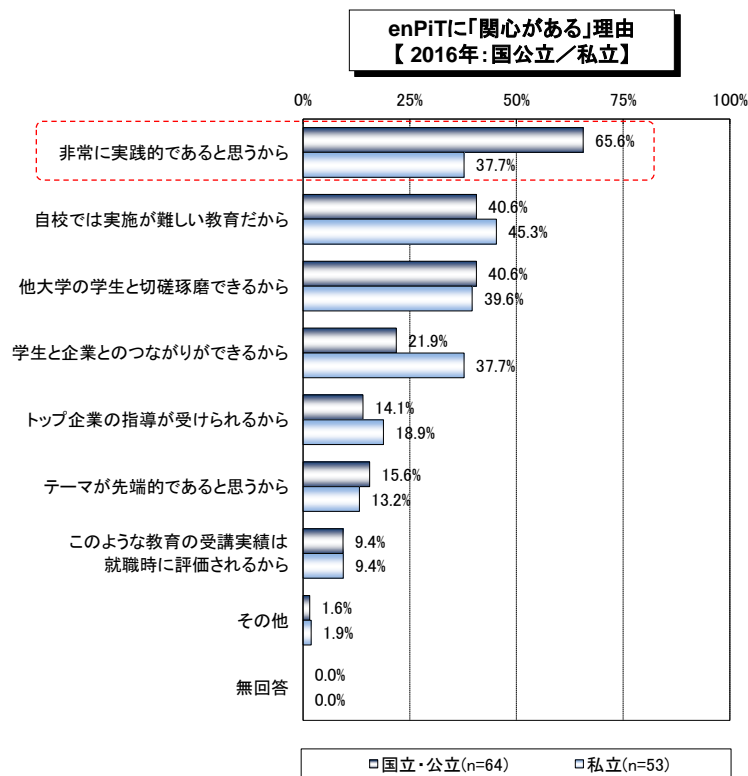
□ 2016年(n=117) □ 2015年(n=169)

□ 2014年(n=100) □ 2013年(n=98)

enPiTに関心がある理由② (属性別)

- 前頁の結果を属性別にみると、「非常に実践的であると思うから」と回答した割合は、国公立では私立よりも3割近く高くなっている(左図)。
- また、右図によれば、「自校では実施が難しい教育だから」という回答は、enPiT非参加校ではenPiT参加校より3割近く高くなっている。

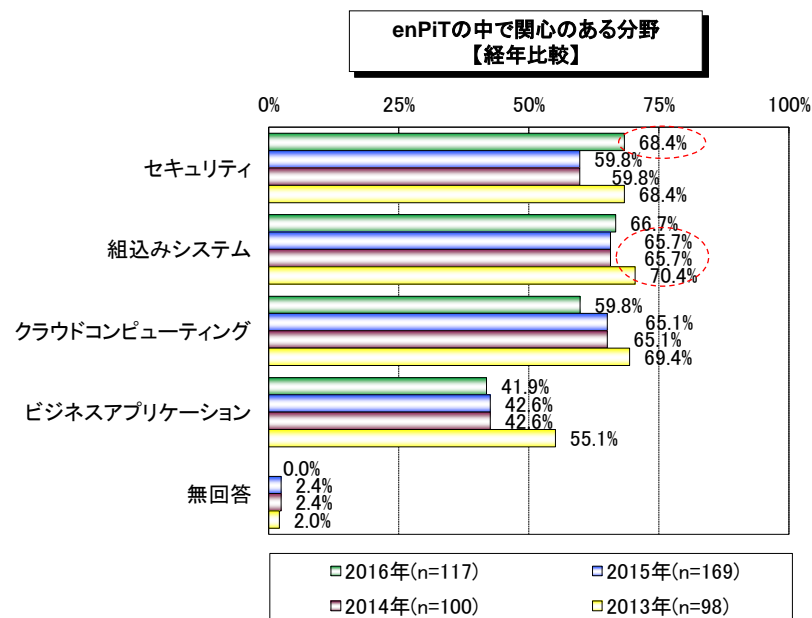
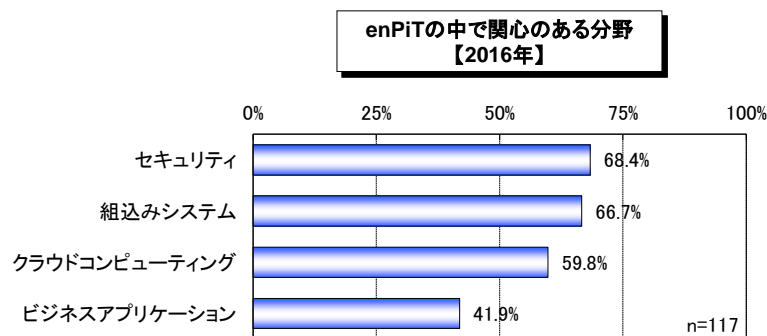
【問7】【回答者対象: enPiTへの関心について「非常に関心がある」、「ある程度関心がある」、「多少は関心がある」を選択した方】理由として、当てはまるものを以下から2つまでお選びください。



enPiT 4分野のうち関心のある分野①

- enPiTの4分野に対する関心の有無を尋ねたところ、左図のとおり、「セキュリティ」が最も高く、次いで「組み込みシステム」、「クラウドコンピューティング」、「ビジネスアプリケーション」の順となった。
- 2015年までの調査では「組み込みシステム」が最も多くの回答を集めたが(右図)、**2016年は「セキュリティ」が最も多くの回答を集め、セキュリティに対するニーズの高まりがうかがえる結果となった。**

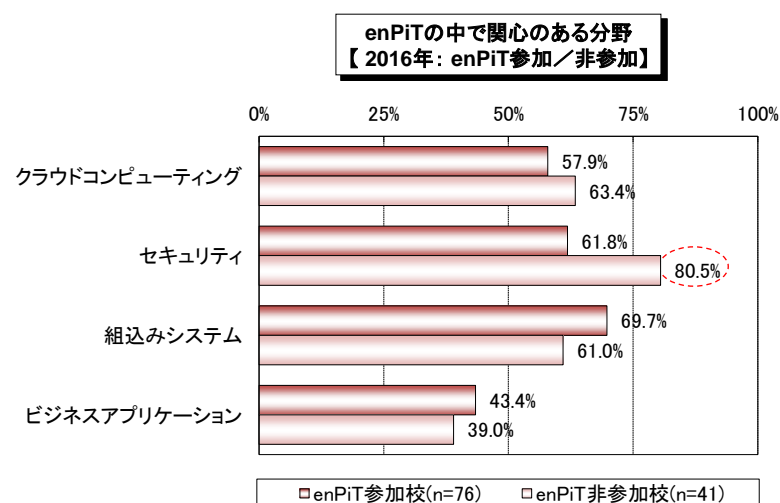
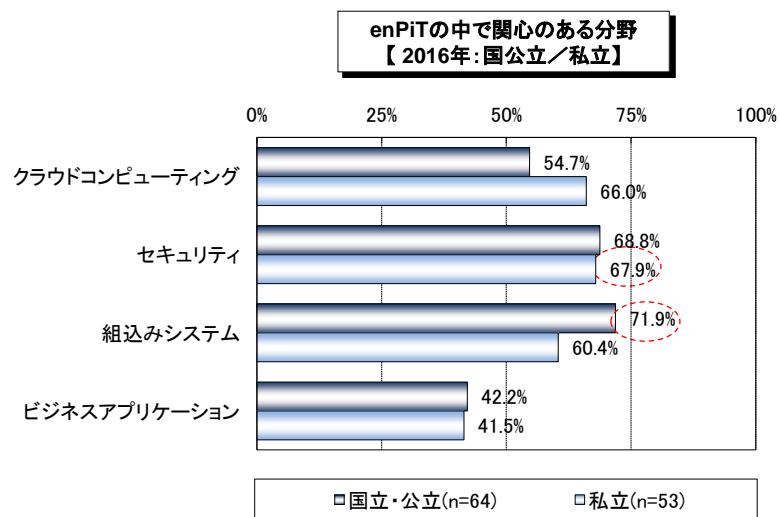
【問8】【回答者対象: enPiTへの関心について「非常に関心がある」、「ある程度関心がある」、「多少は関心がある」を選択した方】
enPiTの4分野のうち、貴専攻にとって関心がある分野をすべてお選びください。



enPiT 4分野のうち関心のある分野② (属性別)

- 前頁の結果を国公立／私立別にみると、私立では「セキュリティ」という回答が最も多くなっているが、国公立では「組込みシステム」という回答が最も多い(左図)。
- また、enPiT非参加校では「セキュリティ」という回答が最も多く、8割を超える結果となっている(右図)。

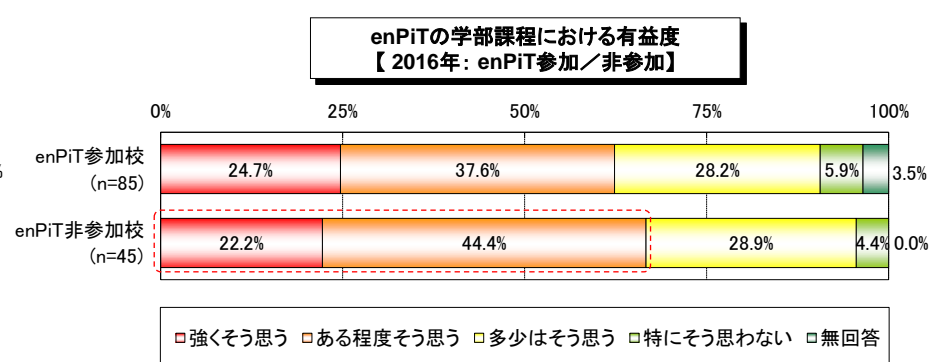
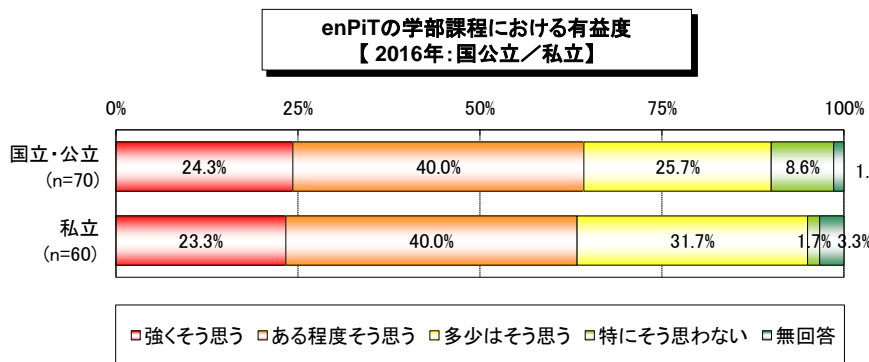
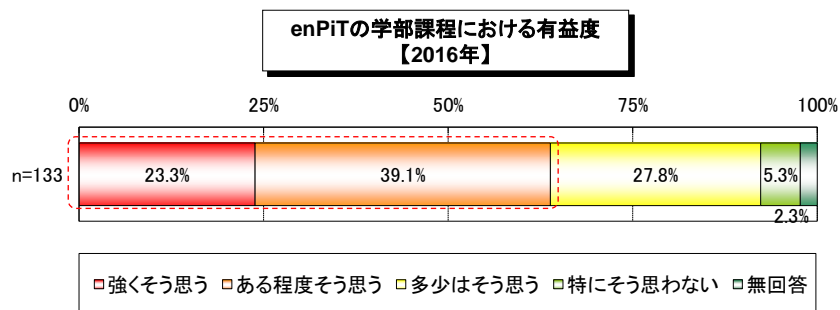
【問8】【回答者対象: enPiTへの関心について「非常に関心がある」、「ある程度関心がある」、「多少は関心がある」を選択した方】
enPiTの4分野のうち、貴専攻にとって関心がある分野をすべてお選びください。



■ 学部課程におけるenPiTの有益度

- 2016年調査では、新たな設問として、大学院を中心に実施されてきたenPiTの教育内容が学部課程においても有益かどうか尋ねた。その結果、下図のとおり、「強くそう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた割合が6割以上となった。
- 国公立／私立別(左下図)、及び、enPiT参加校／非参加校(右下図)でも、enPiTの教育内容が学部課程において「強くそう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた割合は6割を上回っている。特に、enPiT非参加校において、「強くそう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた割合が最も高く、7割近くに上っている点が注目される。

【問9】 enPiTにおいて実施しているような実践教育を学部教育課程で実施することは有益だと思いますか。



■ enPiTが学部課程においても有益な理由

- 前頁において学部課程における有益度についての回答の理由として、以下のような意見が寄せられた。

【問9】 enPiTにおいて実施しているような実践教育を学部教育課程で実施することは有益だと思いますか。

学部課程での
実施に対して
肯定的な意見

- ✓ 大学院とは言わず**学部時代から実践的なテーマに関わらせることが重要**。
- ✓ 基礎教育の段階から実践的な演習を組み入れることで、学生の成長をより促進できる。
- ✓ 学部学生への実施により、**勉学への動機付けに寄与する**かもしれない。
- ✓ 修士に行く前の知識・技術を習得しておくことは重要。
- ✓ 学習目標を下げて行えば学部でも充分できると思う。
- ✓ **早い段階での教育は効果的である**。
- ✓ 興味ある学生に対して実施することは有益だと思う。
- ✓ 先端的開発課題をブレイク・ダウンした上で、学部レベルの演習として実施することは有益。
- ✓ **実力を養うためには時間もかかる**ので学部から始めることはよいと思う。
- ✓ 学部教育課程においても情報技術人材育成のための実践教育が必要。
- ✓ 学生の技術向上だけでなく、**モチベーション向上にもつながる**から。
- ✓ 就職時に多少の付加価値になりえる。
- ✓ 学部卒業後就職する学生も少ないため。
- ✓ 当大学では、進学する学生が少ないため、進学の動機付けにもなるため。
- ✓ 地域ニーズに応じた実践教育を学部で実施し、効果が認められているため。

学部課程での
実施に対する懸念

- ✓ **学部では知識レベルの点についていけない**ことが懸念される。
- ✓ 大学院(修士)を中心に考えている。学部では基礎教育カリキュラムが多く難しい。
- ✓ 実務で使える内容であるかが課題(学部でそのような内容を教えられるか)。
- ✓ 現状では**教員が忙しく時間がない**。
- ✓ 有益であると思うが、**学部では実践する知識がまだ足りない**。
- ✓ 学校教育においては実践も重要であるが、**基礎教育にかかる時間との兼ね合いが難しい**。
- ✓ 現在のenPiTの実践内容はハイレベルで、学部では基礎技術力の育成にかかる時間で一杯で余裕がない。

■ 実践教育を実施する上で不足している情報・他校と共有したい情報

- 自校で実践教育を実施する上で不足している情報や他校と共有したい情報を尋ねた自由回答設問では、以下のような回答が寄せられた。

【問10】 貴専攻で実践教育を実施する上で、不足している情報や他校と共有したい情報はありますか。また、その他、enPiTに関するご意見等があれば、以下にご記入ください。

実践教育を実施する上で
不足している情報・
他校と共有したい情報

- ✓ enPiTで使用している教材、必要機材設備、シラバス含めて、その情報を公開願いたい。有償の場合は、その値段をWeb上で公開してほしい。
- ✓ PBLの進め方、テーマ選定などについての他校の動向について知りたい。
- ✓ 産業界側のニーズに関する情報が欲しい。
- ✓ 今後のenPiTがどのような方向に向かうのか。
- ✓ 実践教育により、どのような教育効果が得られているのか。

enPiTに関する
ご意見

- ✓ 大学院生ではなく、学部学生のコースも作って欲しい。
- ✓ enPiTのような実践教育が教育上大きな位置を占めるような大学院課程は非常に限定されると感じる。
- ✓ 文部科学省の事業として拡大・継続すべきである。
- ✓ TV会議システムも使ってはどうか(50%程度)。